

平成28年度大学院文学研究科 学位論文・修了論文題目・研究主題一覧

博士論文

[史学専攻]

小 谷 量 子 洛中洛外図屏風の研究 歴博甲本 上杉本

修士論文

[日本文学専攻]

高 橋 彩 『源氏物語』朱雀帝論—「物語」としての存在意義を問う—

野見山 優 『とりかへばや』宰相中将人物論—〈女の物語〉の視座から—

芳 野 佳乃子 諸国物語の基礎的研究

[英文学専攻]

越後谷 明 恵 The Significance of Ghosts in Victorian Women's Writing: Emily Brontë's Wuthering Heights, Elizabeth Gaskell's "The Old Nurses' Story," and Mary Elizabeth Braddon's "At Chrighton Abbey"

押 田 昊 子 The Characters in the Middle Position in E.M.Forster's Novels

山 本 綺 音 A Study of the National Society for Checking the Abuses of Public Advertising

[史学専攻]

是 恒 香 琳 成瀬仁蔵の「主行主義」と「帰一」思想

荒 井 美 保 江戸後期の横浜近郊村における世帯のあり方—天保期の鶴見村を中心に—

黒 澤 萌 近世初期における米沢藩の家臣団編成—原方衆を中心に—

小谷津 安 里 若きゲーテにおける「個人の為の宗教」の形成—スピノザ受容の側面からの考察

中 根 花 奈 陳寿「三国志 呉志」の史料的性格について

鈴 木 舞 子 中世における唱導文化の形成と発展—尊勝院弁暁を中心に—

児 玉 恵 美 レバノンのパレスチナ解放運動—難民キャンプにおける動員と参加から—

森 本 町 子 民間航空会社における女性客室乗務員の変遷—戦前から戦後—

伊吾田 絵梨香 清末切音字運動における知識人の言語意識—標準音制定をめぐる

後期課程論文

[英文学専攻]

鹿 野 浩 子 How Interaction Takes Place When Quasi-internal Monologues Occur: A Comparative Study in Japanese and American English

- 藤田 葵 The Influence of Japanese Design Clothes in England in The Latter Half of The Nineteenth Century
- 廣瀬 絵美 A.L. Lloyd's View of Erotic Folk Songs and His Reworking of "The Bonny Black Hare"

文学研究科院生研究主題一覧

[日本文学専攻]

前期1年

- 古澤 彩子 (上代日本文学) 元暦校本代赅書き入れの研究。『万葉集』の伝本である元暦校本の代赅書き入れを再現したテキストを作成し、諸本との比較を通して代赅書き入れの性質や片仮名訓本内での位置づけを検討する。
- 加藤 佑美 (中古日本文学) 『一条摂政御集』は自撰と思しき冒頭部分と、他撰の後半部分から成立する。自撰部分と共に他撰部分も検討し、この私家集が編纂された意図や効果、文学史における位置づけについて考察する。
- 渡邊 咲子 (中世日本文学) 『百鬼夜行絵巻』の研究。同時代作品との比較を通じ、中世から近世に渡る妖怪絵巻の系譜を辿る。また、室町物語の異類物としての本絵巻の特異性について考察し、文化史的な位置づけを再考する。
- 吉田 怜世 (中世日本文学) 中世院政期歌壇の対立における歌合判詞と歌論書の研究。御子左家歌壇を離反したいわゆる「反御子左派」歌人らの内実について、和歌の理論や詠歌態度を比較しそれぞれの立場を再検討する。
- 石井 博子 (近世日本文学) 貝原益軒『大和本草』の基礎的研究。先行論文をたどった上で、本書に現れた思想、発想、表現をまとめ、今後とりあげるべき問題点を探る。
- 尾崎 めぐみ (近代日本文学) 支え合う現実と幻想—上橋菜穂子「守り人」シリーズの構造—
- 金子 結咲 (近代日本文学) 安部公房『デンドロカカリヤ』における他作品の受容。ダンテの『神曲』やギリシャ神話など引用されている作品に注目することで、改めて植物への変身の意味を探っていく。
- 相澤 早帆 (日本語教育) 語彙や連語の特徴を分析し、学習者への効果的な導入方法を調査、検討する。また、学習者にとってどのような教育が、語彙の産出につながるのかを実験を通して分析する。
- 田名部 実里 (日本語教育) 「やさしい日本語」への日本語母語話者の歩み寄りをテーマにしている。書き換え調査を行い、その結果から日本語母語話者に「やさしい日本語」を具体的に認識してもらう方法を考察する。
- 川上 真由子 (日本語学) 児童向けの文章を用いて、読者の年齢と出現語彙との相関について調査を行う。
- 林 美樹 (日本語学) 鳥の「ほととぎす」の漢字表記の研究。中古から近世までの和文を対象に、室町以降で「時鳥」という表記が多くなることや、近世にイメージによって表記が多様化する様相を明らかにする。

前期 2 年

中 島 由季子 (日本語教育) 日本語学習者に学修事項をより定着させ、産出力を付けさせるための指導法の研究。短作文の訂正方法の比較を通して検討する。

後期 1 年

時 田 紗緒里 (近世日本文学) 江戸時代の女性文学について。近世中期の連歌師、荒木田麗女著の連歌集である「麗女独吟千句」を中心に、麗女の連歌について考察する。

後期 2 年

阿 部 美知代 (近世日本文学) 『平家物語評判秘伝抄』の研究。作者周辺を医家・今大路家に見定めた上で、本書がどのような意図をもって出版されたのか、『啓迪集』との関係から考察する。

後期 3 年

安 井 絢 子 (上代日本文学) 『萬葉集』における伝説歌の研究。挽歌の部立てに含まれ、伝説歌とも呼ばれる作品を取り上げ、挽歌の表現から伝説歌の表現への形成過程を考察する。

寶 槻 環 (中古日本文学) 『萬葉集』における伝説歌の研究。挽歌の部立てに含まれ、伝説歌とも呼ばれる作品を取り上げ、挽歌の表現から伝説の表現への形成過程を考察する。

伊 達 舞 (中世日本文学) 〈家〉を起点とした中世王朝物語の研究。特に、物語に内在する同母姉妹の問題とその背景を、父母との関係や待遇の差異の視点から研究する。

濱 田 美枝子 (近代日本文学) 歌人五島美代子研究。美代子は文学史上〈母性愛の歌人〉と評されているが、美代子の〈母の歌〉の持つ意義を究明し、現代短歌史における位置付けの見直しを試みる。

近 藤 の り (近代日本文学) 梶井基次郎研究。「城のある町にて」の風景を見る眼と他者への眼差しに注目し、前作「檸檬」との相違点を考察する。又、「美を選び取る力」については、2 作品の関連性を見ていくこととする。

李 娜 娜 (近代日本文学) 武田泰淳の研究。「虻のすえ」の男性主人公の辛島を中心に、彼の人物像、死因、及び戦後日本文学界に行われた戦犯責任の追及を分析し、敗戦直後泰淳の中国観を考察する。

[英文学専攻]

前期 1 年

幸 田 瑞 希 (言語・英語研究) 多人数相互行為における参与者間の一体感がいかに言語・身体的行動に表出されるかについて

村上 莉花 (イギリス文化) 早期英語教育における多読活動—Oxford Reading Tree を中心に—

吉田 葉 (アメリカ文学) マイノリティの人々の文学作品とアメリカ化について

前期2年

越後谷 明恵 (イギリス文化研究) Wuthering Heightsにおける第一世代Catherineの役割

押田 昊子 (イギリス文学) Virginia Woolf の作品における衣服の表現

田畑 佳苗 (アメリカ文学) Toni MorrisonのThe Bluest Eye における、美醜と自己嫌悪について

山本 綺音 (イギリス文化研究) イギリス社会と芸術の関係性

春山 啓子 (イギリス文学) 20世紀初頭Londonの女性journalist : Beatrice Hastingsについて

後期1年

阿部 あかり (言語・英語研究) 日英語の談話におけるイントネーションの使用と機能

井上 亜紗 (アメリカ文学) Saul Bellow作品における伝記：他者が語る物語について

杉崎 美生 (言語・英語研究) 相互行為における「なんか」の機能分析

櫻田 怜佳 (言語・英語研究) パブリック・スピーチにおける談話構造の日英語比較研究

渡邊 彩子 (イギリス文学) William Shakespeareの悲劇Hamletにおける、プラトンのカタルシスと、肉体と魂の問題について

後期2年

海老名 恵 (イギリス文化研究) ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティの詩と絵画にみる恋愛観

小澤 雅 (言語・英語研究) 日英語相互行為における一人称代名詞の使用の機能

甲野 恵子 (イギリス文学) Evelyn Waughの作品研究

西貝 真紀 (アメリカ文学) J.D.Salinger作品における東洋宗教

後期3年

加藤 彩雪 (イギリス文学) D. H. ロレンスのKangarooにおけるbushと政治共同体

鹿野 浩子 (言語・英語研究) インタラクションにおける疑似独話の日英語比較研究

藤田 葵 (イギリス文学) 19世紀後半以降のイギリスの女性の服飾と女性らしさについて

廣瀬 絵美 (イギリス文化研究) 19世紀後半から20世紀半ばまでのフォークソングリヴァイヴァル運動の歴史と文化的背景

[史学専攻]

前期 1 年

- 厚 澤 友 里 (ドイツ中世史) 中世後期のケルン商人の貿易ネットワークをロンドン貿易を中心に検討する。
- 北 澤 裕 佳 (フランス近代史) 複製画の販売による画商と画家、出版業界との関係の変化を中心に検討する。
- 佐 藤 亜莉華 (日本中世史) 中世における醍醐寺の法流について三宝院門跡満済を中心に検討する。
- 中 村 優 希 (日本近世史) 幕末期における薩摩藩の軍備について島津斉彬を中心に検討する。
- 西 岡 泉 (日本中世史) 足利將軍近侍の同朋衆に対する内外からの批判についての検証と同朋衆の変遷についての考察を行う。
- 三 木 梨彩子 (日本中世史) 木食応其の宗教行為に関して義演准后日記とその紙背文書を中心に検討する。

前期 2 年

- 饗 庭 早 苗 (日本中世史) 東大寺修二会と講社 ― 名張一ノ井松明調進講を中心に調査研究し、地元で伝承する「道観長者伝説」と講の関わりを検討する。
- 荒 井 美 保 (日本近代史) 近世後期の鶴見村における家族構成の変化について検討する。
- 伊吾田 絵梨香 (東洋近代史) 20世紀初頭における東アジアの「文字改革」について検討する。
- 黒 澤 萌 (日本近世史) 地方知行制における上杉景勝の藩制について検討する。
- 是 恒 香 琳 (日本近代史) 成瀬仁蔵の帰一思想を中心に検討する。
- 小谷津 安 里 (西洋近代史) 敬虔主義とスピノザ主義を踏まえた、ゲーテの汎神論的宗教観に基づく文学作品について検討する。
- 鈴 木 舞 子 (日本中世史) 東大寺僧弁暁の唱導史料を中心に用いて、中世における唱導文化の興隆について検討する。
- 中 根 花 奈 (中国史) 『三國志』やその周辺史料を用い、史料編纂の背景について検討する。
- 森 本 町 子 (日本近現代史) 女性客室乗務員(航空)の変遷を、戦前から戦後を通して検討する。
- 児 玉 恵 美 (中東現代史) 1948年イスラエル建国に伴い、祖国を追放された離散パレスチナ人が祖国帰還を目指してフェダーイーネ(ゲリラ)に身を投じたプロセスについて検討する。

後期 1 年

- 渡 邊 美 樹 (契丹史) 契丹における「燕雲十六州」獲得の意義を再考し、この地の獲得を契機に確立された契丹の統治体制の実態を検討する。

後期2年

姜 錫 正 (日本中世史) 日本中世真言密教における教学思想の発展過程について検討する。

後期3年

岩 場 由利子 (西洋現代史) 仏領サハラ以南アフリカにおける脱植民地化の過程をフランス議会の議事録などを用いて検討する。

小 谷 量 子 (日本中世史) 洛中洛外図屏風歴博甲本と上杉本を中心に、歌絵との関係及び、戦国期幕府について研究する。

宮 城 満里奈 (西洋中世史) 十五世紀イングランドにおける予言と政治